

### 総合型地域スポーツクラブの社会資源としての価値向上に向けた取り組み

○岸本 記子 座間味 洋貴 [公益財団法人沖縄県体育協会]

図師 里佳 荒川 雅志 [琉球大学大学院観光科学研究科]

キーワード：総合型地域スポーツクラブ レクリエーションスポーツ 社会資源

沖縄県では健康長寿沖縄復活に向けた取り組みのなか、地域密着型の総合型地域スポーツクラブを活用した健康運動教室やレクリエーションスポーツイベント等の開催を通して、地域住民がスポーツを通して健康意識を高め地域健康力の向上を目指す取り組みが行われている。本研究では、平成26・27年度沖縄県文化観光スポーツ部「地域健康力アップ事業」のモデル事業体として採択された県内総合型地域スポーツクラブを対象に、メタボリックシンドローム対策型、ロコモティブシンドローム予防型の健康運動教室前後の身体測定及び体力測定とアンケート調査の統合分析をおこない、クラブ運営状況については県内62のクラブへ郵送にてアンケート調査を実施した。【結果】全12回開催された健康運動教室後に、体重、腹囲、体脂肪率の減少、生化学値においても改善がみられた。一方、アンケート結果からはクラブ運営において人材面、スキル面、費用面など課題が多く見られたが、PRのあり方やクラブが提供できるメニューの範囲拡大とスキル向上で認知度の向上と県民の参加意欲を促進し、クラブの社会資源としての価値をより発信できる可能性が示唆された。

### スクーバ・ダイビングによるレクリエーション効果

○加藤 淳一 [NPO 法人美ら海振興会] 荒川雅志 [琉球大学大学院観光科学研究科]

キーワード：スクーバ・ダイビング、沖縄観光、レクリエーション効果

【背景】スクーバ・ダイビングは、海洋レジャーあるいはマリンスポーツの一つとして、高度経済成長を経て我が国のライフスタイルにおける余暇の増大に伴い、広く定着・成長してきた。亜熱帯海洋性気候の温暖でサンゴ礁の広がる美しい海を有する沖縄では、観光産業での重要な位置づけを占めると共に、近年では人々に安らぎと癒しを与える健康効果の側面にも着目されている。一方、スクーバ・ダイビングの先行研究では、減圧症の問題、安全重視の器材の研究、海難事故に対する安全対策などに重点が置かれ、スクーバ・ダイビングが心身に及ぼす影響や効果を検証した研究はほとんど見られない。

【目的】スクーバ・ダイビングによるレクリエーション効果について、アンケート調査により検証する。

【方法】NPO 法人美ら海振興会所属のダイビング事業者に協力を仰ぎ、沖縄県内でスクーバ・ダイビングを楽しむ一般ダイバー、プロダイバー、体験ダイバーを対象に、ダイビング終了後にレクリエーション効果チェックリスト（前橋ら）を採用して回答を求めた。

【結果】452名から回答を得られたアンケートについて、性差、年齢層、ダイビング経験本数の違いから分析中であり、学会当日に詳細を報告する。